

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010080

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	1 小中学校の教育内容の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	児童生徒授業用コンピューター整備(更新)事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成27年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	更新台数		#N/A	
事業目標	111台	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	授業用パソコンの更新整備	雄武小学校 36台 (ホストPC1台・児童34台) (LAN接続方式) 4,800千円				沢木小、豊丘小、共栄小 計41台 新規購入
	雄武小 現有39台(H16年購入) 沢木小 現有11台(H21年購入) 幌内小 現有 8台(H21年購入) 豊丘小 現有10台(H21年購入) 共栄小 現有 5台(H21年購入) 雄武中 現有38台(H20年購入)	雄武中学校 42台 (端末42台、サーバー一式) (教育用アプリケーション一式) 14,900千円				
計 画 事 業 費	事業費(千円)	37,246	20,485	0	0	16,761
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	16,700				16,700
実 績 事 業 費	事業費(千円)	33,366	19,326	0	0	14,040
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	14,040				14,040
関 連 事 項	特定財源の名称 ふるさと応援基金	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		雄武小・雄武中(全児童生徒)の更新整備 沢木小・幌内小・豊丘小・共栄小(全児童)のバージョンアップ整備	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	111台		33台	41台
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	94%	#DIV/0!	#DIV/0!	84%
		全体達成率	52%	52%	52%	52%
	備考欄					

事業名	児童生徒授業用コンピューター整備(更新)事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育総務係長	高橋 洋祐

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童、生徒	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	パソコン更新整備数		
【抱える課題やニーズは】	使用するパソコンの不具合、OSのサポート期間満了等により更新が必要となる。新学習指導要領に対応すべく、各校のICT環境を整備する必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新機種に順次更新し、授業及び学校経営の安定化を図る。	① パソコン整備数	目標年度	平成29年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町内小中学校の児童生徒が平等な授業を受けることが保障されるとともに、各小中学校において教育水準の維持が図られる。		目標値	41台	
			実績値	41台	
			達成度	100.0%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	パソコン整備	タブレット・キーボード一体型端末の整備を実施しております。	②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇	
			実績値	〇〇	
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ICT環境を整備することは、これからの教育活動において必要不可欠であるため、更新整備は町が担うべき事業であると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		町内小中学校における更新整備を計画的に進めているため、教育水準の維持に必要な対策を講ずることができていると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		今後の児童生徒数の推移を参考に数が過大とならないよう配慮し、導入したパソコンについても、タブレット、キーボードの一体型としたことで、効率的な整備を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		町内の全小中学校児童生徒を対象とした更新整備事業であるため、公平性が保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
パソコン整備に伴い、均等な教育機会が図られており、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
今後もパソコンの劣化状況等を判断しながら、計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止